



編集・発行 山見妙勢能報  
日蓮宗 能勢部  
〒563-0132  
大阪府豊能郡野間中  
電話 072-739-0329  
FAX 072-739-2883

### 合掌の心とは

倉橋 観隆

うちでは五大紙の一つS新聞を長年購読しております。この新聞屋さんの配達の際に感動を覚えます。その人の年令は五十才ぐらいでしょうか。

随分以前の事です。夕刊を配達してくれた時、たまたま私がポストの前にいたので「いつもご苦労様です」と言って新聞を受け取ろうとしました。すると彼はわざわざバイクから降りて両手で渡してくれたのです。私は思わず感動しました。「今度の人は随分丁寧な人だなあ、私が声を掛けただけだからかな」とその時は思いました。

ところがそうではなかったのです。ポストに入れる時にもやはりバイクから降りて両手で丁寧に入れてくれたのです。雨の時は合羽を着ているとはいえ、ずぶ濡れになっていてもやはり両手です。おまけに新聞はビニール袋に入っています。よそのお宅でも同様に配達している場面を何度も見かけました。しかもこの姿勢は何年経っても変わりません。彼の行動は人目を飾ってのことではないでしょう。たとえ相手がポストであろうと、その向こうにいるお客さんに無事に新聞を届けなければならぬという使命感を持って仕事をしている現れではないかと思うのです。

ところで、日蓮大聖人は両手を合わせて相手を敬う行為である「合掌」の大切さをお説きになっておられます。その原点は法華経の二十番目に説かれる常不軽菩薩（じょうふきょうぼさつ）のお姿にあるのです。この方は生涯出会う人総てにひたすら両手を合わせて尊び敬う修行をやり遂げて仏様になられたのです。この菩薩が人々を敬った理由は、人は総て、その人になしかならぬ使命を必ず持つて生まれて来ている。そのように尊い存在だからこそ合掌して拝んだというのです。大聖人はその生き方を学べと説かれています。

新聞屋さんの両手と大聖人の合掌の教えとが通じるような気がします。ポストから新聞を取り出すたびに襟を正される思いです。

### 《法華経に学ぶ現代》

〜純智庵〜

#### 其の耳

#### 総利なるが

#### 故に

#### 悉く

#### 能く分別して

#### 知らん

『法師功德品第十九』

おれおれ詐欺に振り込めサギ呼び名はいろいろ変わったが手口もさまざま変わってる。まずは慌てず気を落ち着けて耳を澄まして聞かぬなら仕掛けの罠に嵌まり込むなにより隙を見せまいぞそれが分別耳の徳

### 【8月の主な行事】

- ★登山靴供養会 11日(祝)13時 受付9時半、13時法要開始
- ※同時開催 山の日フェスタ
- ★写経会 12日(日)11時 写仏もできます。

★月例祈願法要 15日(水)13時

★星嶺演奏会 19日(日)11時

★星嶺茶論 19日(日)13時

お題目の太鼓練習です。

★孟蘭盆会施餓鬼法要

★鷗様月例祭 22日(水)13時 22日(水)15時

### 【9月の行事予定】

☆八朔祭 2日(日)終日祈禱 御祈禱を受けた方に

「八朔田之美御守」を授与

11時 法話

12時半 奉納芸能

14時 開運餅まき

★写経会 9日(日)11時 写仏もできます。

★月例祈願法要 15日(土)13時

★星嶺演奏会 16日(日)11時

★星嶺茶論 16日(日)13時

お題目の太鼓練習です。

★秋季彼岸会 22日(土)13時

ご先祖等のご回向

★鷗様月例祭 22日(土)15時

《交通のご案内》

◆ケーブルは通常運行。リフトは土砂崩れのため運休中

### ふたりのはげつるぴん

小林 謙照

先日、ある蒸し暑い夜、春先におかつぱ頭にしていた息子の髪が伸びてきて暑苦しそうだったので「そろそろ髪切るか？」と聞くと「きるー！」と元気のいい返事。どんなのが良いか聞くと「あついから、おとうさんとおなじ、はげつるぴん！」ときた。「はげつるぴん」どうやら息子の中で坊主頭はすべて「はげつるぴん」らしい。

その後、私の愛用バリカンで見事はげつ、いや、坊主頭になった息子は、よほど気持ちいいらしく、寝るまでずっとご満悦な顔で自分の頭を触っていた。そういえば、私も自分の頭をよく撫でていた。確かに気持ちいい。坊主頭は気持ちいい上に何かと楽だ。風呂上がりにドライヤーいらず、タオ

ルも小さいタオルで事足りる。寝癖もつかないから身支度も楽チン。

さてさて、坊主頭の『坊主』はもともと「坊」小「さなお寺」の「主」住職という意味で住職は剃髪（ていはつ）していたため、転じて丸刈りのことを坊主刈り、坊主頭と呼ぶようになったのだとか。

これは、仏教発祥の地、古代インドでは頭髪を剃ることが恥ずかしいこととされ、重罪を犯したもののへの刑罰だったが、お釈迦様はあえて出家のため自ら剃髪したことから、弟子たちがそれに習い、出家するとき剃髪するようになったとされているのが由来のようだ。

息子は当然そんなことは知らぬが、坊主頭が好きだし、将来の夢を聞くと「お坊さんになって、おとうさんとぼうけんする！」と言ったりする。お坊さんが

子供の頃のお墓参りは誰か知らないご先祖様のお墓だったが、今となっては知らない誰かのお墓ではない。また、直接面識のないご先祖様に対しても、歳とともに繋がりを感じるようになってきた。とはいえ回りを見ると、仏壇のない家も増えてきたし、お盆はお

### ☆☆☆☆星のたより☆☆☆☆

墓参りより家族旅行とどうかたも。家族で過ごす時間はとても大切だが、それに加えて仏様やご先祖様と共にある安心感を生きる上で大きな支えになってくれる。今月はお盆、ご先祖様を迎えて、子らにこの宝物を伝えていけたらと願う。  
U.K

冒険（布教の旅）!? お釈迦様かよ（笑）

冗談はさておき、本当に一緒に冒険（お釈迦様のように説法の旅はできそうにない）ができればステキだなと思う。

息子が大きくなる頃は、どんな世界になっているのだろう。冒険に備えて、心身ともに精進しよう。さあ、わたしも「はげつるぴん」にして、寝るとするか。

**俳壇** (みのり)

甚平着て父も一役墓掃除  
つる草に足をとられて墓参り

眼裏に面影偲び門火焚く  
炎天下油掛地藏きらぎらと

児の守る朝顔咲きぬ今朝三つ

### 法華経茶話

#### 法華経の成立(四)

大乘の修行者を菩薩と呼びます。菩薩とは仏の悟りを求めて修行する者という意味です。菩薩は元々は修行時代のお釈迦様を指す言葉でしたが、時代が下るにつれて大乘の修行者を指すようになりました。菩薩というと、我々日本人にとっては馴染みのある言葉ですね。

例えばお釈迦様の次に仏になることが約束されている弥勒菩薩や、慈悲の象徴である観世音菩薩、は皆様も名前くらいは聞いたことがあるかと思えます。ちなみにこの御二方は法華経にも登場します。菩薩と聞くと、なにか気が遠くなるような、雲の上の存在のように感じるかもしれませんが、実は本紙を通してお釈迦様の教えに触れてみたいと感じておられる時点で、皆様も既に菩薩道の入り口に立っているのです。